

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
<https://www.futawa-hp.jp>



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 加藤伸次
月一回発行 1部 50円

二和病院グループへようこそ!!

今年もフレッシュな20名が仲間に



(初期研修医 5名、助産師 1名、看護師 5名、理学療法士 3名、作業療法士 2名、言語聴覚士 1名、臨床工学技士 1名、社会福祉士 1名、事務 1名)



船橋二和病院院長 宮原重佳

新入職員のみなさん、船橋二和病院へようこそ。病院長としてみなさんのご入職を心より歓迎いたします。

船橋二和病院は、民医連に加盟し「無差別・平等の医療福祉」を目標に掲げています。親切で良い医療・介護の実践と質の向上のため、これから一緒に努力していきましょう。

よい医療・介護の実践には、平和な世の中であることが良い社会保障制度があることが必要です。今世界の複数の地域で戦争が起こっていますが、日本が再び戦争をする国にならないように憲法9条と平和を守る活動を強めていきましょう。



船橋二和病院健康友の会 会長 浦卓夫

二和病院グループに就職されたみなさん、おめでとうございます。先輩職員から大いに学び一日も早く現場で大きな役割を果たされるよう心から期待します。「健康友の会」は、「自分たちが安心して、かかりやすい病院を」とのつくり運動の中で生まれた団体です。病院がスタートした後、病院を支え、そして、自分たち自身でも健康を守るため活動し、そして、「安心して住み続けられるまちづくり」のストーリーを掲げ、現在約6000人の会員が18の地域で健康や福祉のことを学びつつ、「楽しむ」活

動をくり広げています。さて、視野を広げると、医療や福祉の現状はもとより戦争か平和かの問題で、日本でも世界でも大いに考えなければならぬ動きになっているのではないのでしょうか。

無差別平等の医療・福祉を掲げる民医連の職員として避けて通れない課題がいっぱいあります。これらの課題に果敢に挑戦されることを大いに期待します。

一日も早く仕事に慣れ、新入職員のみなさんが友の会活動にも参加されることを心から期待しています。

生き生き友の会・地域の活動

御滝地区



御滝地区では3か月に1度「レッツ筋トレ」と題して体操教室を開催しています。講師はふれあいクリニックの平岩医療トレーナー。クリニックで行っているのと同じ内容の密度の濃いトレーニングで、いっぱい汗を流します。終わった後は心も身体もリフレッシュ！続けていこうと思いを新たにします。今回は6名が参加しました。

八木が谷地区



4月1日(水)のアンデルセン桜ウォーキングは、当日午後から雨予報の中、10名参加で行って来ました。公園に着いた途端、満開の桜と前日の風雨で散った花びらで一面ピンクの歩道。桜吹雪の中一回りして、昼はラーメンで温まりながら、「桜の童謡を歌いたいね」とみんなで話しました。

高根台地区



3月11日(水)、アートヒル高根台集会所にて「難聴について」の講座を開催しました。講師は、二和病院リハビリ科の吉田言語聴覚士とかなで補聴器の岡田さん。補聴器屋さんや耳鼻科の選び方への疑問にも親身に相談に乗っていただき、難聴のご両親のために聴きにいられたという方々も含め45名の参加で大盛況でした。

いつでも元気

2026 5月号 380円 好評発売中

壁、は意外と薄かった 山梨

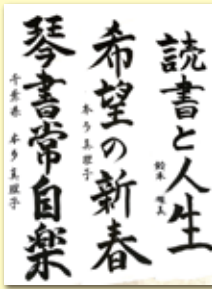
けんこう教室 未来のためにロコモ予防

新連載 ココロとカラダのツボ療法

長崎に初の9条の碑

まちなか 大阪府和泉市

食と健康 野菜寿司を楽しもう!



御滝地区 書道を楽しむ会



大穴・三咲地区 手芸 手作り企画作品



鎌ヶ谷市馬込沢 ペン字 今野加代子

会員の作品

連載「語り継ぐべき被爆・戦争体験」

二和病院の職員であった伊久万里さんのご了解とご意向を受けて、昨年の6月号からお母様の手記を約一年連載していました。

『広島 八月六日』 川上悦子 昭和58年執筆

最終回〈結〉

原子爆弾という恐ろしい兵器があることなど私たちは全く知りません。日本に比べアメリカは物資も豊かで日本の何倍も優れた兵器のあることは分かりますが、熱線であれほどまでの被害を受けようとは、とても私たちの思い及ばない事です。

日本は広島・長崎と世界で初めての原爆を体験し、それによって戦争の終わりを観ました。被爆者もだんだん年をとり、やがてこの世から消えます。いろいろな形で広島の悲劇を残し伝えていかなければなりません。

(完)



川上悦子さん 大正15年生まれ 平成6年没

母の思いに心をよせて

伊久 万里

母が語る原爆の話は、子供の私には昔話のシーンにしか思えなかった。優しいこの母が恐ろしい地獄の中を潜り抜けてきたとは...

母が望んだ平和な世界、自分の生き方を自由に選択できる社会、何よりも人間が尊厳をもって生きられる社会がどんなに大切か...この不安な世の中でますます実感できるようになりました。

戦争・原爆の経験を語る人は少なくなりました。バトンを渡された私たちは核兵器廃絶のために何が出来るのかを考え、出来ることをできる限り続けたいと思っています。

核兵器禁止条約発効に寄せて

畠山 健

1月22日、想像を絶する被爆者の犠牲が礎となって、戦後76年目にしようやく核兵器に「悪の烙印」が押されました。

母が「広島の悲劇を残し伝えていかなければなりません」と記した手記を、この機会に小冊子にまとめてみました。

残念ながら、日本政府は米国と核兵器大国の「お先棒担ぎ」に成り下がっています。唯一の被爆国である日本も政権を交代して核兵器禁止条約を批准し、国際社会における誇り高い人類の一員として、この条約を実効あるものにしていきましょう。

暮らしを支える視点から介護保険を考える

第9回 訪問介護のきびしい現実

◆訪問介護事業所の倒産は生活の危機に直結

訪問介護事業所(ヘルパーステーション)の倒産件数は過去最多となりました。これは、地域で暮らす高齢者にとっては生活の危機につながる大変な問題です。土日や利用者が希望する時間帯でのサービス提供が難しくなり、必要な時に必要なサービスが受けられない事態が広がっています。



◆なぜこうした事態になっているのか

理由は、2024年度の訪問介護基本報酬引き下げと、人手不足による経営困難にあります。事業所は運営を維持していくためやむなくサービス時間を短縮したり、無理してでも訪問件数を増やさざるを得なくなりました。その結果、安全で質の高いサービスの提供が困難になってきています。また、朝の時間帯の依頼が重なり、すべてを受け入れられないのが現状です。

全体の半数以上が65歳以上になっており、ヘルパーの高齢化と人材不足も深刻な影響を及ぼしています。

◆倒産やサービス縮小は社会全体の福祉や健康に悪影響

訪問介護のサービスが受け入れないと、本人のQOLの低下につながることはもちろん、家族が介護の負担を感じ、ストレスから健康問題を引き起こす可能性もあります。

ヘルパーステーションの倒産やサービスの縮小は、直接的には利用者・家族に影響しますが、それだけでなく、社会全体の福祉や健康にも悪影響を及ぼしかねません。

◆国の責任で訪問介護の充実を

訪問介護事業所の危機は国全体に影響を与える問題です。国が推進する地域包括ケアには訪問介護が欠かせません。超高齢社会が進む中で、国が責任をもって積極的に対処しなければならない課題だと思います。



ヘルパーステーションなのはな二和事業所 山崎幸子